

研究

6月30日（水）

NO. 3

研究主任（道徳教育推進教師）



梅雨の季節になりました。毎日うっとうしいほどの湿気がわたしたちを包んでいます。それでも、雨にぬれる紫陽花の花や時折見える雲の間の青空が、心を和ませてくれます。

1学期も残すところ3週間足らずになりました。子どもたちを、ご自分の立てた目標にどれだけ近づけることができましたか？「これは、しっかり力がついたな。」「もうちょっとあの部分の力をつけていない。」など思っておられるのではないのでしょうか。道徳の学習の方はどうでしょう？

6月28日は、朝倉先生と古本指導主事先生をお迎えし、研修をしました。朝倉先生のご指導についてまとめました。今後の参考にして頂ければと思います。

第4回校内研修での学び

【第4回校内研修

1年生 『かぼちゃのつる』 1－（1）節度ある生活態度 東京書籍

指導講話：朝倉淳先生

〈 キーワード ： 授業づくり 少人数 役割演技 〉

★授業づくり（資料提示・言葉の理解）

- 資料提示には、①分割提示と②全体提示がある。どこを中心発問にするかによって、①②どちらにすれば効果的か決まる。大雑把な言い方をすれば、考えさせたいこと（葛藤場面）が途中にあるなら①、考えさせたいことが最後にあれば②を使うとよい。

今回は、①にするのがよいと考える。

- 『わがまま』の言葉の理解は難しい。「ちょうどいい」「ほどほど」「～しすぎない」ことが節度である。したがって、始めに、『のびることはいいことである』ということを押さえておくのは大切である。たとえよいことでも、しすぎることはよくないというように児童に納得させることができる。

★少人数（キャラクター）

- 3人という少ない人数の場合、考えを深めさせるために3人の発言を聞きながら、キャラクターを登場させて意見を言わせる。その際、ゆさぶりを入れるためのものか意見を補強するためなのか、内容に応じて教師が発言を工夫する。

★役割演技（ポイント）

- 役割演技に入る前にしておくこと
 - ア 場面を限定すること。『～した時』のように瞬間を捉える。
 - イ 具体的なイメージを作ること。なろうとするものと同じ目線や立場にしっかりとたたせる。そうでなければ、役割は取得できない。日頃から、感覚を使う状態を作り、感じ方の練習をさせておくことよい。（例：メトロノームの利用）
 - ウ 後で気持ちを聞くこと。役割演技をさせることで、初めて気持ちが分かる。

- 気をつけること
 - ア 何もしないことも認めること。前に出て役割演技をせず、その場に立ちすくむかもしれない。しかし、それでも内面を訊くことで、なぜだまっていたのかが明らかになる。
 - イ 見ている者の指導をすること。『どういう風に見ていればよいか』『見ている時のマナーはどうすべきか』『役割演技後、どのような話し合いを持つのか』を教える必要がある。

今後の予定

7月 6日 3・4年授業研究



1学期の授業について、もう一度振り返ってみてはいかがでしょう？年間計画に、気づきを入れたり、自分の道徳ノートを振り返って反省を見直したり……。2学期の授業に生かせればいいですね。